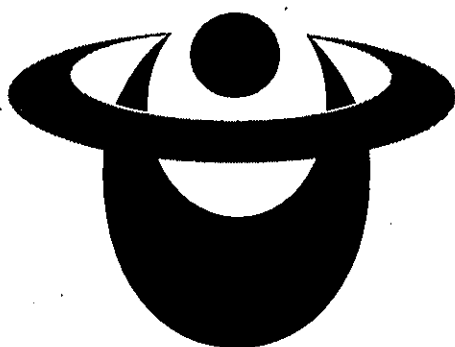


教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価結果報告書

(平成28年度分)



時と水ゆったり流れる

平川市

平成29年12月

平川市教育委員会

## はじめに

平川市教育委員会は、人間尊重の精神を基調として、「個性が尊重され、ひとがきらめくまち」の実現に向けて、夢いっぱい子どもたちの育成、いきいきはつらつ生涯学習の推進、元気はつらつ生涯スポーツの推進、こころ豊かな芸術文化の振興に努め、「こころ豊かな、未来に向かうひとづくり」をめざした教育を推進しています。平成28年度は第1次平川市長期総合プランの最終年度であり、各種事業の成果を踏まえ、第2次長期総合プラン策定をはじめ、さらなる教育の充実・改善に取り組んでまいりました。

これまで、報告書は事務の効果を把握し、必要性・効率性等の観点から、教育委員会自らが点検・評価を行い公表してきたところであります。

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、より一層点検及び評価の客観性を確保するため、学識経験者の意見を求め、議会へ提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、今後の教育施策のさらなる充実につながるものと考えております。

市民の皆様には、この報告書をご覧いただき、本市の教育に対する取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。今後も市民の皆様にご信頼される教育行政を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年12月

平川市教育委員会

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

1. 平成28年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員構成	1
(2) 教育委員会会議状況	1
(3) 総合教育会議状況	3
(4) その他の活動状況	3
2. 教育委員会における事務の点検及び評価	
(1) 自己点検・評価の実施状況	5
(2) 具体的な点検・評価の方法	5
3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
(1) シート1 教育委員会の活動	6
(2) シート2 教育委員会が管理・執行する事務	8
(3) シート3 教育委員会が管理・執行を教育長 に委任する事務	10
(4) 事務事業評価表	11~36

## 1. 平成28年度教育委員会の活動状況

期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

### (1) 教育委員構成

職名	氏名	任期	備考
委員長	内山浩子	H28.2.25～H32.2.24（3期）	
委員	工藤甚三	H27.3.8～H31.3.7（2期）	委員長職務代理者
委員	佐々木幸子	H29.3.6～H33.3.5（3期）	
委員	葛西万博	H26.2.26～H30.2.25（1期）	
委員	駒井優子	H26.2.26～H29.6.10（1期）	
教育長	柴田正人	H26.2.26～H30.2.25（1期）	

### (2) 教育委員会会議状況

月1回の定例会と必要に応じて臨時会を開催した。

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第4回 定例会	4月26日 13:30～	報告第4号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて	報告
		報告第5号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて	報告
		議案第25号	平川市教育支援委員会委員の委嘱について	可決
		議案第26号	平川市文化財保護審議会委員並びに郷土資料館運営協議会委員の委嘱について	可決
		議案第27号	平成28年度奨学金新規貸与者の決定について	可決
		議案第28号	平川市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則案	可決
第5回 定例会	5月24日 14:00～	議案第29号	平川市職務に専念する義務の特例に関する規則の一部を改正する規則案	可決
		報告第6号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて	報告
		議案第30号	平成29年度使用小・中学校用教科用図書採択について	可決
		議案第31号	平川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	可決
		議案第32号	平川市学校給食センター運営委員の委嘱について	可決

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第6回 定例会	6月28日 13:30~	報告第7号	専決処分した事項の報告及び承認を求めること について	報告
		議案第33号	平川市立小中学校事務共同実施組織運営規程の 一部改正案	可決
		議案第34号	平川市幼稚園就園奨励費交付要綱の一部改正案	可決
第7回 定例会	7月28日 9:00~	報告第8号	財産の取得について	報告
		報告第9号	平成28年度教育費6月補正予算について	報告
		議案第35号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検 及び評価結果報告書	可決
		陳情第1号	放課後児童健全育成事業施設整備計画に関する 陳情書	
第8回 定例会	8月23日 13:30~	(継続審議) 議案第35号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検 及び評価結果報告書	可決
第9回 定例会	9月21日 10:00~	報告第10号	平成28年度教育費9月補正予算について	報告
		報告第11号	平成28年度学校給食センター費9月補正予算 について	報告
第10回 定例会	10月21日 13:30~	報 告	教育長報告 各課報告	報告
第11回 定例会	11月22日 13:30~	議案第36号	平川市文化財の指定の解除について	可決
		議案第37号	平川市文化財の指定について	可決
第12回 定例会	12月20日 13:30~	報告第12号	平川市自然の森の指定管理者の指定及び指定管 理者の管理の期間について	報告
		報告第13号	工事の請負契約について	報告
		報告第14号	平成28年度教育費12月補正予算について	報告
		報告第15号	平成28年度学校給食センター費12月補正予算 について	報告
		議案第38号	平成28年度平川市教育委員会被表彰者の決定 について	可決
		そ の 他	総合計画基本構想の策定について	
第1回 定例会	1月20日 13:30~	議案第1号	平川市教育委員会委員長の選挙について	可決
		議案第2号	奨学金貸与者の返還金の免除について	可決
第2回 定例会	2月21日 9:00~	議案第3号	平川市運動施設条例の一部を改正する条例案	可決
		議案第4号	平成29年度教育関係当初予算案について	可決
		議案第5号	平川市教育委員会の事務の委任等に関する規則 の一部を改正する規則案	可決
		議案第6号	平川市運動施設条例施行規則の一部を改正する 規則案	可決
		議案第7号	平川市教育委員会公印規則の一部を改正する規則案	可決
議案第8号	平川市の教育施策の方針(案)について	可決		

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第1回 臨時会	3月16日 13:30~	議案第9号	平川市教育委員会職員の人事異動について	可決
第3回 定例会	3月28日 9:00~	報告第1号	工事の請負契約について	報告
		報告第2号	平成28年度教育費3月補正予算について	報告
		報告第3号	平成28年度学校給食センター費3月補正予算について	報告
		議案第10号	平成29年度学校教育指導の方針と重点(案)について	可決
		議案第11号	平成29年度平川市社会教育行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第12号	平成29年度平川市保健体育行政の方針と重点(案)について	可決
		議案第13号	平成29年度平川市運動施設運営の方針と重点(案)について	可決
議案第14号	平成29年度平川市学校給食センター運営の方針と重点(案)について	可決		
議案第15号	平川市教育振興計画(案)について	可決		
議案第16号	平川市スポーツ推進計画(案)について	可決		

### (3) 総合教育会議状況

2回の会議が開催され、各案件について市長と教育委員会との協議及び調整がされた。

会議	開催日時	議事番号等	内容
第1回 総合教育会議	1月27日 14:30~	議事(1) 議事(2)	碓ヶ関小中学校併置とすることについて 碓ヶ関小中学校の敷地の選定について
第2回 総合教育会議	3月28日 14:00~	議事(1) 議事(2)	平川市教育大綱案について 「男女共同参画」に係る事務の補助執行について

### (4) その他の活動状況

#### ① 市議会定例会等への出席

本会議、一般質問、常任委員会、臨時会等に出席し、必要に応じて教育行政に関する答弁を行いました。

## ② 学校訪問

学校運営の実態把握を目的として、小学校9校、中学校4校の学校訪問を年2回（前期・後期）実施し、学校経営方針等について意見交換を行いました。

また、各中学校区内の共通した学校課題に対し、意見交換を通して、小・中連携強化を図りました。

### 前期

訪問日	訪問校等
5月16日（月）	平賀東中学校、尾上中学校
5月17日（火）	松崎小学校、大坊小学校、柏木小学校、平賀東小学校
5月18日（水）	碓ヶ関中学校、碓ヶ関小学校、竹館小学校
5月19日（木）	平賀西中学校、小和森小学校、各教育施設※1
5月20日（金）	猿賀小学校、金田小学校

※1 文化センター、給食センター

### 後期

訪問日	訪問校等
11月14日（月）	碓ヶ関中学校、碓ヶ関小学校、金田小学校
11月15日（火）	松崎小学校、平賀西中学校、平賀東小学校
11月16日（水）	猿賀小学校、尾上中学校、大坊小学校
11月17日（木）	柏木小学校、平賀東中学校、各運動施設※2
11月18日（金）	竹館小学校、小和森小学校

※2 ひらかドーム、松崎河川敷広場、建設中の平川市陸上競技場・平賀多目的広場

## ③ その他行事・協議会等への出席

入学式・卒業式・成人式・表彰式等の式典及び小学校陸上競技大会をはじめ学校の諸行事に出席しました。

また、教育委員を対象とした会議・研修会等に参加し、委員としての幅広い識見を養い、本市の教育行政の向上に資することに努めました。

## 2. 教育委員会における事務の点検及び評価

### (1) 自己点検・評価の実施状況

#### ① 点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行いました。

#### ② 学識経験を有する者の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項に基づき、学識経験を有する方の知見を活用するため、「点検評価アドバイザー会議」を開催し、「点検評価アドバイザー」から実施状況や評価等について意見をいただき、これを参考に報告書の作成を行いました。

※ 平成29年度点検評価アドバイザー

村上 薫 氏〔元平川市立平賀東中学校校長〕

浅原 晴志 氏〔元田舎館村立田舎館小学校校長〕

樋口 正博 氏〔NPO法人平川市体育協会監事〕

### (2) 具体的な点検・評価の方法

3つの事項に分類し、次の方法で点検・評価を行いました。

#### ① シート1

教育委員会の活動及び運営状況等について、点検を行いました。

#### ② シート2

教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）について、事務の進捗状況や、会議の審議状況を踏まえて点検を行いました。

#### ③ シート3

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務事業について、事業実施、成果等を踏まえAからDの評価を行いました。

評価の基準

達成度	評価内容
A	達成している（100%）
B	ほぼ達成している（80%以上）
C	おおむね達成している（60%以上）
D	達成していない（59%以下）



### 3. 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価

平川市教育委員会は、教育は人づくりという視点に立ち、確かな学力と生きる力と夢や希望を育む学校教育の推進や、市民の各世代にわたる学びの意欲にこたえる生涯学習の推進、そして誰もが生涯にわたって心身共に健康でスポーツやレクリエーション活動ができる推進に努め、人々の個性が尊重され、共に高めあうまちを目指すため様々な事業を進め、平川市長期総合プランの具現化に取り組んできました。

(シート1)

大項目	中項目	小項目	点検
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	毎月開催の定例会を原則第4火曜日の計12回開催した。また、臨時委員会を3月に1回開催した。
		②教育委員会会議の運営上の工夫	議案及び資料について、案件ごとに様式を統一するなど会議運営について工夫し、各課長からの説明についても統一性を図ったことで、委員からの活発な発言につながった会議運営となった。また、審議が長時間にわたる場合は、継続審議とした。
	(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	報道関係者の照会があったが、一般市民を含め傍聴者はいなかった。
		②会議録の公開	教育委員会の透明性・公平性を図る観点から、毎月開催の定例教育委員会の会議録を市ホームページで公開した。

大項目	中項目	小項目	点検
1 教育委員会の活動	(3) 教育委員会と事務局との連携	①教育委員会と事務局の連携	毎月開催の定例会の運営方法や、議案審議等については、委員長と十分に協議を重ね、各委員の意見を聞きながら会議を慎重に進めるなど、連携は十分に図られた。
	(4) 教育委員会と首長との連携	①教育委員会と首長との意見交換等の実施	教育長は市長と毎週一回、打合せを実施し意見交換を行っている。また、議会の一般質問においては、首長を含め答弁を協議している。さらには、総合教育会議を2回開催することにより、首長と教育委員との意見交換する機会が増え、一体となった連携が図られた。
	(5) 教育委員会の自己研鑽	①研修会等への参加状況	教育委員一人ひとりが見識を深めるため、県主催の各種研修会に参加した。また、各教育委員が、積極的に学校行事や地域行事に参加し、子どもたちの教育活動の状況把握に努め、定例委員会で報告するなど情報の共有化を図られた。
	(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	学校運営の実態把握を目的として、学校訪問を年2回実施した。学校経営方針を中心に校長、教頭及び教務主任と意見交換を行い、さらには委員会において総括を行うことで、委員間の共通理解を図られた。 (市内小学校9校、市内中学校4校)
		②所管施設の訪問	学校訪問実施に合わせ、各教育施設の実情を把握するため、各教育施設及び運動施設を訪問し、各施設の整備状況及び整備計画等について確認した。

大項目	中項目	点検
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	教育行政の運営に関する一般方針については、年度末に教育委員会で各課の方針と重点を定め、「平川市の教育」の中で平川市教育委員会主要施策として公表している。各課では、方針に基づいて、教育行政の運営に努めた。
	(2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止並びに敷地の選定に関すること	当該事例なし
	(3) 教育委員会規則の制定または改廃に関すること	教育委員会規則の制定等については、定例の教育委員会に諮り、委員の意見を聞きながら、慎重かつ的確に審議した。
	(4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担職員で校長の任免その他進退について内申すること	学校長の任免その他進退の内申については、教育委員会に諮った。
	(5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること	学校管理運営規則及び学校職員サービス等に関する規程に基づき、服務規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会において、定期的に服務規律のマニュアルを提示し、具体的に指導し、交通違反、交通事故、体罰等の防止に努めた。
	(6) 教育長、事務局長、課長、所長その他教育機関の長の任免を行うこと	教育委員会内の管理職人事異動について、教育委員会に諮った。
	(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を述べること	教育委員会関係の条例制定や一部改正、予算、財産の取得、工事の請負契約等について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
	(8) 条例、規則に定める附属機関の委員の任命、委嘱又は解任、解嘱を行うこと	各課で委嘱している各種委員の任命及び委嘱について、教育委員会に諮り、意見を求めた。

大項目	中項目	点検
2 教育委員会が管理・執行する事務	(9) 校長、教頭その他教育機関職員の研修の一般方針を定めること	研修については、平川市教育施策の最重点目標に位置づけ、市内小・中学校に指導した。また、校長面談において各学校長に研修の充実を図るよう指導した。
	(10) 学齢児童・生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	当該事例なし
	(11) 教科用図書を選択すること	平成29年度小学校及び中学校において使用する教科用図書について教育委員会に諮り、採決した。
	(12) 文化財の指定及び解除に関すること	文化財の的確な保護を目的として、指定及び解除について教育委員会に諮り、委員から意見を求めた。
	(13) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による点検及び評価に関すること	教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等について、点検・評価を実施し、教育委員会で報告及び承認を受け、議会に提出した。また、市ホームページに掲載し周知した。

(シート3)

大項目	基本	個別目標	具体的事務事業	評価	No	担当課
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり	夢いっぱい子どもたちの育成	就学援助事業	A	1	学校教育課
			教材備品等整備事業	C	2	〃
			教育振興会補助金	A	3	〃
			校務用パソコン整備事業	A	4	〃
			小学校・中学校施設維持管理	B	5	〃
			小和森小学校大規模改造事業	B	6	〃
			学校給食センター運営事業	B	7	学校給食センター
			平川市教職員研修	B	8	指導課
			平川市子ども議会	A	9	〃
			学力向上対策(学習支援員配置)事業	B	10	〃
			指導主事による学校訪問	B	11	〃
			いじめ防止対策事業	B	12	〃
			放課後こども教室推進事業	B	13	生涯学習課
		青少年国内交流事業	B	14	平賀公民館	
		いきいきはつらつ生涯学習の推進	未来の担い手発掘・育成・支援事業	B	15	生涯学習課
			平成の寺子屋(講座)	B	16	平賀公民館
			定例おはなし会	B	17	平川市図書館
			図書館運営事業	B	18	〃
		元気はつらつ生涯スポーツの推進	軽スポーツ巡回教室事業	B	19	保健体育課
			たけのこマラソン大会補助金	A	20	〃
			平川市スポーツ派遣補助金	B	21	〃
			NPO 法人平川市体育協会補助金	B	22	〃
			第2期平賀総合運動施設整備事業	B	23	平川市運動施設
		こころ豊かに芸術文化の振興	公共ホール音楽活性化事業	B	24	文化ホール
			文化財保護事業	B	25	生涯学習課
			文化普及啓発事業	B	26	郷土資料館

# 事務事業評価表

事業No. 1

事務事業名	就学援助事業	担当課	学校教育課
-------	--------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	<p>学校教育法第19条※に基づき、経済的理由により就学が困難である児童生徒の保護者に対し、義務教育を受けるにあたり必要となる経費の一部を援助する。</p> <p>※学校教育法第19条…経済的理由によつて、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。</p>		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<p>①各学校において事業を周知し、保護者より随時就学援助申請を受付ける。</p> <p>②申請があった世帯の市民税課税状況等を調査し、認定基準を満たす保護者に援助を決定する。</p>
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
21,894	127	0	0	21,767

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>就学援助認定となった児童生徒の保護者に対し、給食費、学用品購入費、修学旅行費、校外活動費、体育実技用具費、医療費を援助した。</p>			
①小学校 対象者：159名		②中学校 対象者：113名	
支給総額：	10,192,830円	支給総額：	11,700,748円
新入学学用品費：	266,110円	新入学学用品費：	871,350円
学用品費等：	1,712,831円	学用品費等：	2,266,430円
修学旅行費：	1,545,343円	修学旅行費：	3,440,767円
校外活動費：	167,977円	校外活動費：	118,671円
給食費：	6,240,520円	給食費：	4,971,120円
医療費：	44,328円	医療費：	32,410円
体育実技用具費：	215,721円		

## 5. 評価

<b>A</b>	<p>当市における義務教育の均等化・円滑化の実施に資する事業であり、援助を必要とする保護者に対して、基準に基づき公平・公正に就学援助費として支給している。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業No. 2

事務事業名	教材備品等整備事業	担当課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	小・中学校で使用する備品を整備し、市内小・中学校の均一した教育環境の充実に努める。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	当初予算策定時に各学校から要望をつのり、緊急性、あるいは他校との整備状況の格差、また、国より示されている整備指針を勘案しながら優先順位を決定し、予算の範囲内において実施している。
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
7,210	1,983	0	0	5,227

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

①理科備品等整備事業	小学校 9校	3,968千円	(うち国庫補助 1,983千円、補助率1/2)
②学校図書整備事業	小学校 9校	1,342千円	中学校 4校 1,900千円 計 13校 3,242千円

## 5. 評価

C	限りある予算の中で、学校ごとの重点要望を取り入れながら備品整備を実施することにより、各校の学校経営に即した特色ある学校の教育環境整備を実施しているものの、学校のすべての要望には応えられない状況にあった。			
	①理科備品基準達成率	小学校平均 41%(前年39%)	中学校平均 25%(前年26%)	
	②学校図書基準達成率	小学校平均 87%(前年84%)	中学校平均 65%(前年62%)	

# 事務事業評価表

事業No. 3

事務事業名	教育振興会補助	担当課	学校教育課
-------	---------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	市内小・中学校のスポーツ・文化・芸術の振興を図るため、各種連携事業に係る事業費や部活動等の大会出場に係る費用を支援する。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童生徒作品展の連携事業、また、部活動等の大会出場に係る経費の一部に対して補助金を交付する。
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
6,216	0	0	0	6,216

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>【連携事業費:1,350,529円】</p> <p>小学校陸上競技大会: 439,528円</p> <p>学校音楽発表会: 369,001円</p> <p>文集ひらかわ作成: 400,000円</p> <p>学校保健会: 57,000円</p> <p>児童生徒作品展: 85,000円</p> <p>【派遣事業】</p> <p>部活動大会等派遣費: 4,865,200円(のべ62大会) ※学校別かつ競技別でカウントした。</p>
--

## 5. 評価

A	小学校陸上競技大会、学校音楽発表会、文集ひらかわ、学校保健会、児童生徒作品展については、学校教育の振興が図られた。部活動の大会派遣費については各校とも活躍がめざましく、補助金は随時協議等を交えながら要綱に従って適正に処理され、目的は十分に達成された。
---	---



# 事務事業評価表

事業No. 4

事務事業名	校務用パソコン整備事業	担当課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	学校のICT※教育環境整備の一環として、小学校、中学校の教職員への校務用パソコンを整備する。 ※ICT…電子機器や通信機器を使って情報・知識の交流をすること。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	校務用パソコン及び指導要録用パソコン、校務に必要なソフトウェア及び健康管理ソフトを各小・中学校に整備する。
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
36,943	0	0	0	36,943

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

小学校 168台、中学校 92台の校務用パソコン及びソフトウェア等を整備した。 ①小学校整備費 23,924,932円    ハードウェア:19,451,140円    ソフトウェア:4,473,792円 ②中学校整備費 13,018,520円    ハードウェア:10,652,780円    ソフトウェア:2,365,740円
---

## 5. 評価

A	小・中学校の全教職員に校務用パソコンを整備したことから、教職員の経済的負担解消に寄与した。 また、セキュリティ対策強化により、児童生徒の成績処理など情報管理が図られるとともに、個人情報保護・情報管理モラルの向上に資することができた。
---	---

# 事務事業評価表

事業No. 5

事務事業名	小学校・中学校施設維持管理	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	学校施設の不具合が生じた箇所を工事・修繕し、学校運営に支障をきたさないよう、安全安心な教育環境の維持管理に努める。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	電気設備や消防設備、遊具などについては定期的に保守管理を行い、状況把握に努めている。 また、学校施設や備品の破損等については、速やかに状況を確認し、緊急度、優先順位の高いものから工事・修繕を実施する。
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
22,209	0	0	0	22,209

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

小学校 18,283,355円(主な工事・修繕:大坊小学校トイレ改修 4,968,000円、碓ヶ関小学校校舎屋根復旧 2,748,060円) 中学校 3,925,733円(主な工事・修繕:平賀西中学校トイレパネルヒーター修繕 475,200円)
---

## 5. 評価

B	学校施設や備品の修繕等を実施しているが、経年による老朽化により維持管理経費は増加傾向にある。 緊急度、優先順位が高いものから工事または修繕するため、予算の範囲内では優先順位が低いものは先送りせざるを得ないことから、学校側の要望に応えられない場合もあった。
---	--

# 事務事業評価表

事業No. 6

事務事業名	小和森小学校大規模改造事業	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備
事業開始・終了年度	平成27年度から平成28年度		
事業の目的・概要	経年による老朽化が進んでいる学校施設について、機能回復及び改善を図るため、大規模改修を実施する。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	小和森小学校は、昭和62年に建築しており、校舎及び屋内体育館の屋根の防水加工や外壁塗装、廊下張替を実施する。
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
279,971	80,219	0	194,100	5,652

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

①工事面積	(校舎)	3,840㎡
	(屋内体育館)	1,066㎡
②事業費内訳	(工事請負費)	275,488,560円
	(監理委託費)	4,482,000円

## 5. 評価

<b>B</b>	大規模改造により不具合箇所が解消され、健全な教育環境の提供に資することができた。今回の大規模改造事業の対象とならなかった給排水設備については、経年による老朽化が懸念される。
----------	--

# 事務事業評価表

事業No. 7

事務事業名	学校給食センター運営事業	担当課	学校給食センター
-------	--------------	-----	----------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-1	教育環境の整備
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	ぬくもりのある安全でおいしい学校給食を提供するため、衛生管理の徹底、市内農産物を使用した地産地消の推進、配送などが円滑に行えるよう管理運営体制の充実を図る。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<p>栄養士等による調理員に対する衛生講習会及び衛生管理指導を徹底し、調理器具等の洗浄消毒を頻繁に行う。</p> <p>市内産農産物目標使用率20%達成のため、市内農産物の積極的な使用と子どもたちによるこぼれる魅力的な給食献立の創意工夫に努める。</p> <p>各小・中学校において栄養教諭や栄養士による「食に関する指導」を実施する。</p>
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
339,464	0	0	143,146	196,318

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>【基本食数】 平賀学校給食センター1,714食/日、尾上学校給食センター784食/日</p> <p>【市内農産物使用率】 平成24年度15.7%、平成25年度15.1% 平成26年度15.0%、平成27年度15.3%、平成28年度16.8%</p>
---

## 5. 評価

B	<p>衛生管理等の徹底により、ノロウイルス感染症及び食中毒等の発生を予防でき、安全な給食を提供するとともに、各小・中学校へ遅延なく配送することができた。</p> <p>食の大切さを学び、生産者の思いや苦勞に感謝して食べる気持ちを育むため、市内農産物を積極的に使用するよう努めたが、地産率の向上を図るため、さらなる生産者との連携強化が必要である。</p>
---	--

# 事務事業評価表

事業No. 8

事務事業名	平川市教職員研修	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	教員としての専門性を高め、資質の向上を図ることにより、授業を核にした生き生きとした学級づくりの推進に資するとともに、学校運営への参画意欲を高め、平川市の学校教育の活性化を目指す。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	平川市小・中学校教職員全員研修講座 平川市夏季研修講座 平川市教師力向上講座1 平川市教師力向上講座2	平成28年7月25日(月)実施 平成28年8月4日(木)実施 平成28年6月13日(月)実施 平成28年8月10日(水)実施	【参加者191名】 【参加者29名】 【参加者16名】 【参加者31名】
--------------------------------	--	---	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
23	0	0	0	23

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

管理職として期待される教員には、その自覚と学校運営に参画する意欲を高めることができた。また、学級担任等には、学級経営に対する明確な視点が与えられたことにより、教科指導や生徒指導の資質向上に寄与できた。
--

## 5. 評価

<b>B</b>	「道徳の教科化」や「保護者対応」など、喫緊の教育課題に即した講座を開催し、講義や演習を通して市内教員の資質向上に寄与できた。さらに、個々の課題意識を高め、専門的知識や技能を習得させ、実践的指導力の向上を図る必要がある。
----------	---

# 事務事業評価表

事業No. 9

事務事業名	平川市子ども議会	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	市議会議場において、市内小学生の代表が議員及び市理事者として議会を疑似体験することを通して、行政や市議会の仕組みについて学び、平川市の「まちづくり」に関心を深める機会とする。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	①議会制民主主義の仕組みについて学び、18名の子ども議会議員が、議員と市長の立場になって質問書と答弁書を作成した。 ②一般質問と、それに対する市長と子ども議会議員による答弁、子ども議会決議を行った。
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
0	0	0	0	0

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

①小学生の代表者が、議員及び市長の立場になって質問書と答弁書を作成することで、平川市を見つめ直すとともに、将来の「まちづくり」について考えさせることができた。 ②子ども議会で、建設的な意見・提案、そして答弁を体験でき、市議会の仕組みを理解させることができた。
--

## 5. 評価

A	子ども議会を通して議会制民主主義の仕組みを学び、ふるさと平川市に思いを寄せ、将来の「まちづくり」に感心を深めさせるとともに、郷土を愛しその発展に努めるようとする心や態度を育むことができた。
---	--

# 事務事業評価表

事業No. 10

事務事業名	学力向上対策(学習支援員配置)事業	担当課	指導課
-------	-------------------	-----	-----

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	市内全小・中学校に学習支援員を配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指す。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	①学習支援員19名を、すべての小・中学校に1から2名ずつ配置し、授業における個別支援に努めたほか、中学校においては長期休業中の学習支援を行った。 ②適切な支援の在り方について研鑽を積むため、学習支援員研修会を2回開催した。
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
17,600	0	0	0	17,600

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

子どもたちの考えを深めるために発言を促したり、気づいていない視点を示したりするなど、一人ひとりの学習意欲を引き出しながら、学ぶ楽しさを実感させていた。
---

## 5. 評価

<b>B</b>	一人ひとりに応じた学習支援により、基礎基本の確実な定着が図られただけでなく、子どもたちの学習意欲を喚起するなど、授業の充実に大きく貢献した。さらに思考力・判断力・表現力を身に付けさせるよう、教師と支援員との連携を一層密にしていく必要がある。
----------	--

# 事務事業評価表

事業No. 11

事務事業名	指導主事による学校訪問	担当課	指導課
-------	-------------	-----	-----

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	<p>①計画訪問 ・学校運営・教育課程について現状を把握し、問題点改善に向けて指導・助言する。 ・学習指導・生徒指導等にかかわる諸問題を把握し、指導・助言する。 ・「平川市学校教育指導の方針と重点」の周知徹底を図る。</p> <p>②要請訪問 各校の研修(研究)計画に基づく課題解決のために、校長の要請を受けて訪問し、校内研修及び学習指導について指導・助言し、学校教育の推進及び教育力の向上に資する。</p> <p>③生徒指導訪問 長期休業明けに各校を訪問し、生徒指導上の状況把握するとともに、生徒指導上の指導・助言を行う。</p>		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<p>①計画訪問 5月2校、6月9校、7月2校の学校訪問を実施した。</p> <p>②要請訪問 9月3校、10月2校、11月8校の要請を受けて、学校訪問を実施した。</p> <p>③生徒指導訪問 長期休業中及び長期休業明けに市内全小・中学校を訪問し、実態把握及び指導・助言を行った。</p>
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
0	0	0	0	0

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>①各校の教育課題への取組状況を把握するとともに、授業への具体的な指導・助言をし、授業力向上に寄与できた。</p> <p>②授業実践に対する具体的な指導・助言を通して、教員の研修意欲を高めることができた。</p> <p>③計画訪問、随時訪問を通して、児童生徒の状況を把握し、問題行動等の未然防止、事案対処に資することができた。</p>
---

## 5. 評価

B	「平川市学校教育指導の方針と重点」を確実に伝達するとともに、校内研修が一層充実するよう、具体的かつ適切に指導・助言を行った。さらに、信頼される学校づくり実現に向け、教員一人ひとりの指導力・対応力を高めていく。
---	--



# 事務事業評価表

事業No. 12

事務事業名	いじめ防止対策事業	担当課	指導課
-------	-----------	-----	-----

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-2	学校教育の充実
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。また、市、学校、家庭、地域住民、その他関係機関と連携し、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	(平成25年9月 いじめ防止対策推進法施行) 平成28年2月 平川市いじめ防止基本方針策定 平成28年3月 平川市いじめ防止基本方針策定～対応マニュアル～策定 平成28年4月 平川市いじめ防止対策審議会条例施行 平成28年4月 平川市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱制定 平成28年5月 平川市いじめ問題対策連絡協議会開催 平成28年5月 平川市いじめ防止対策審議会の開催 平成28年7月 平川市いじめ防止基本方針対応マニュアルの一部見直し 平成28年8月 学校いじめ防止基本方針の一部見直し
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
29	0	0	0	29

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

関係機関との連携及びいじめ問題の対策を担う実効的な組織を立ち上げた。また、各校の実態に応じたいじめ防止基本方針の見直しを通して、いじめ対策の実効性を高めた。
--

## 5. 評価

B	「平川市いじめ防止対策審議会」、「平川市いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、関係機関との連携及びいじめ問題の対策を担う実効的な組織を立ち上げ、「平川市いじめ防止基本方針」に基づく「学校いじめ防止基本方針」の効果的な取組の実現を図った。
---	---

# 事務事業評価表

事業No. 13

事務事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-3	青少年教育の推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。 放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに体験活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	市内小学生を対象に教育活動推進員や教育活動サポーター(地域のボランティア団体)に運営を依頼し、「読み聞かせ」、「ものづくり」、「レクリエーション」、「スポーツ(新体操)」教室などを実施し計画的に活動拠点(居場所)を確保した。 1. わくわくひらかわ教室(市内全域)・年9回(あみまつハウス) 2. わくわく新体操教室(碓ヶ関地区)・年40回程度(碓ヶ関RGC) 3. わくわく遊び体験教室(放課後児童クラブと連携)・年1回(あみまつハウス・かしわっこクラブ)
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
284	189	0	0	95

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>わくわくひらかわ教室9回、わくわく新体操教室37回、わくわく遊び体験教室1回を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくひらかわ教室 対象者:36名(のべ参加人数:229名)</li> <li>・わくわく新体操教室 対象者:9名(のべ参加人数:333名)</li> <li>・わくわく遊び体験教室 対象者:11名</li> </ul>
---

## 5. 評価

<b>B</b>	<p>小学生(1年生から6年生)の中で、互いに協力して作業をすることにより仲間意識が芽生えていることや、意欲的に発言する姿勢が見られるなど、子どもたちの自立心が養われた。 わくわくひらかわ教室の対象者については、地域によって申込にばらつきがあるため、市内全域からの参加者を確保できるよう工夫する必要がある。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業No. 14

事務事業名	青少年国内交流事業	担当課	平賀公民館
-------	-----------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-1	夢いっぱい子どもたちの育成
	主要施策	1-1-3	青少年教育の推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	将来の平川市を担う中・高校生を、気候・風土の異なる鹿児島県南九州市に派遣し、また南九州市から青少年の家庭に受入することで相互にホームステイしながら、文化・教育・産業を学ぶことによって青少年の人材育成を図る。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	市内中学校へチラシの配布及び広報ひらかわに掲載し、参加者を募集した。 日程・プログラムについては、それぞれ受入れ側(7月は南九州市、12月は平川市)が決定した。 派遣前には、事前研修を2回行い、留意事項の説明、自己紹介の仕方、アトラクションの練習等を行った。 受入前には、受入説明会を開催し、日程や留意事項の説明を行った。
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
1,134	0	0	0	1,134

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>○派遣 7月23日から26日 参加者7名(高校生2名、中学生5名-男3、女4) 引率者3名(子ども会2名 職員1名) 知覧特攻平和会館見学、カヌー体験、水族館見学、ファミリーデー(各家庭による対応)を通じて交流を図った。</p> <p>○受入 12月23日から26日 南九州市参加者7名(高校生1名、中学生6名-男3、女4) 引率者3名(実行委員会2名 職員1名) 金魚ねぶた作り、スキー体験、りんごの選果及び世界のねぶた見学、ファミリーデー(各家庭による対応)を通じて交流を図った。</p>
---

## 5. 評価

B	<p>子どもたちは、気候、風土、生活習慣の違いの一端を知ることができた。また、人々の温かさや文化、教育、産業を肌で感じ取り、短期間において成長がみられる。この経験が今後の人生においても活かされることが期待される。</p> <p>近年、参加希望者が減少しており、派遣者の確保に苦勞しているため、事業内容を再確認し対策方法を検討する。</p>
---	---

# 事務事業評価表

事業No. 15

事務事業名	未来の担い手発掘・育成・支援事業	担当課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	地域活動に参画意欲があるものの、なかなかその一步を踏み出せない若い人材の発掘・育成・支援をする。 地域活動に興味がある若者が集まり、共に学び、実践を通して繋がりを深め、地域の実践者として活躍できる人材の育成を目指す。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	弘前大学との連携事業として実施し、市ホームページ、文化センターFacebookで周知のほか、市内企業・団体へ直接伺い参加募集の依頼をした。また、市役所若手職員についても運営スタッフ兼参加者として依頼をした。 今年度は、「未来の担い手意見交換会」「未来の担い手交流会」を開催し、年度の成果品として広報紙を作成し、市内回覧を行った。
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
134	0	0	0	134

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

「意見交換会」は、グループワーク形式で行い、平川市の「良いところ」「悪いところ」を書き出し、平川市の現状を見つめ直すことで、さらに住みよいまちにしていくポイントや、問題点を探った。(30名参加) 「交流会」は、「意見交換会」で出されたポイントを参考にしながら、平川市の将来イメージに近づくためのアイデアを自由に出し合った。(42名参加) 話合いの成果として、タブロイド紙「スタート！わけものまぢづくり」を作成し、回覧板による市内回覧で住民への周知を行った。
--

## 5. 評価

<h1>B</h1>	意見交換会、交流会の両事業とも、運営スタッフの活躍もあり活発な話合いが行われ、たくさんの意見が出され充実したものとなった。 これからの活動が大いに期待されることから、本事業の進捗に支障がないよう、早めの育成プログラム作成が必要である。
------------	--

# 事務事業評価表

事業No. 16

事務事業名	平成の寺子屋(講座)	担当課	平賀公民館
-------	------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	生涯にわたって自らが輝きつづけるために、講演や文化芸術活動への参加を通し、現代社会に対応できる教養を身につけ、学習によって得た知識等を積極的、かつ自主的に地域活動に活かす、きらめくひとづくりを目指す。 各種講座や移動学習等の開催により、現代社会に対応できる教養を身につける。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	20歳以上の市民を対象に広報等で周知・募集し、講座等7回の他、移動学習を3回行った。 講座の内容としては健康に関すること、歴史に関すること、日常生活の参考になるものなど身近なテーマを幅広く設定した。
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
169	0	0	0	169

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>健康や終活に関する講座や、藤工芸体験、史跡探訪、男の料理教室などを全10講座を実施したところ、各講座で10から41名の参加があり、全228名の参加者であった。</p> <p>参加者からの感想はおおむね良好であり、講義内容については満足してもらっている印象がある。これまでは自身の興味があるものを受講される方が多かったが、講座内容にかかわらず参加される方も増えており、学びの場として市民に浸透していると感じられた。各講座とも終了時にはアンケートの協力を求め、次回以降の参考とした。</p>
--

## 5. 評価

<b>B</b>	<p>参加者も増え好評ではあるが、中高年女性層で固定化しつつある状態であったため、男性をターゲットにした講座を開催したところ、参加者から再度の開催を要望されている状況である。</p> <p>若年層や男性に対する講座について拡充することにより幅広い参加者を求め、事業の充実を図る。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業No. 17

事務事業名	定例おはなし会	担当課	平川市図書館
-------	---------	-----	--------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	子どもに対し、本への興味の育成、読書習慣の醸成のほか、それを端緒に図書館の利用、理解の促進を図る。また、学区や年齢層が異なる子ども間の相互交流の場の提供、思い出作りの一助を担う。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<p>月例おはなし会と時節おはなし会にて、その都度のテーマに即した内容としている。</p> <p>実施体制としては、主に平川市読書推進運動協議会(おはなしこっこん)におはなしの語り役を依頼し、テーマや内容については、同協議会と図書館間で打ち合わせのうえ決定し、その内容に即した選書、物品調達、会場設営等を行う。</p> <p>また、周知方法としては「広報ひらかわ」や市ホームページ及び図書館内及び市内保育園等の教育関係機関へのポスター掲示、チラシ配布等を実施した。</p>
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
114	0	0	0	114

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例おはなし会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①開催数:平賀図書館 9回、尾上図書館 10回</li> </ul> </li> <li>・時節おはなし会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①開催数:平賀図書館 3回、尾上図書館 2回、碓ヶ関公民館 3回</li> </ul> </li> </ul>	<p>全参加人数:143名</p> <p>全参加人数:434名</p>
---	-------------------------------------

## 5. 評価

<b>B</b>	<p>おはなし会に参加した子どもたちが、後日来館している状況から、本へ興味をもつきっかけづくりになっていることは確実である。また、時節おはなし会は開催時の子どもたちの雰囲気などから長期の休み期間中の思い出づくりになっているものと思われる。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業No. 18

事務事業名	図書館運営事業	担当課	平川市図書館
-------	---------	-----	--------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-2	いきいきはつらつ生涯学習の推進
	主要施策	1-2-1	生涯学習の推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	平賀図書館、尾上図書館の管理運営。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	市民の多様かつ高度化する学習活動を援助し、地域に役立つ図書館を目指すため、各分野にわたる資料・情報を総合的に収集して、市民の多目的な利用を図る。
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
12,948	0	0	0	12,948

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>市民に対し、各種学習の場を提供するとともに多様な情報の入手、文化的な生活の営みに寄与している。</p> <p>【28年度実績】</p> <p>平賀図書館：購入 1,556冊 寄贈 868冊 その他 7冊 貸出人数 11,035人 貸出冊数 43,661冊</p> <p>尾上図書館：購入 1,015冊 寄贈 350冊 貸出人数 6,678人 貸出冊数 19,198冊</p>
--

## 5. 評価

<b>B</b>	<p>当市の図書館(平賀、尾上、碓ヶ関図書室)の貸出しについては、相互の貸出しや県とのネットワークで連携が図られている。また、蔵書管理についても平賀、尾上両図書館の同一システムへの移行準備が順調に進んでいる。</p> <p>近年の読書離れに歯止めをかけるため、購入ジャンルの幅を広げ、より一層利用者ニーズに応える。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業No. 19

事務事業名	軽スポーツ巡回教室事業	担当課	保健体育課
-------	-------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	市民の健全な発達と健康で活力のある生活の形成に寄与するため、スポーツ推進委員による指導や実践の場を創出することにより、市民へのスポーツ推進を図る。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<p>各種団体等へ文書やホームページを通じて周知し、希望する団体の申請に応じて次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民及び学校等各種団体の求めに応じたスポーツ実技の指導</li> <li>・市民のスポーツ活動促進のため、スポーツ実践の場の積極的な創出</li> <li>・市民のスポーツについての理解を深めるための指導・助言</li> </ul>
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
70	0	0	0	70

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

スポーツ推進委員 派遣のべ28人 @2,500×28人=70,000円、教室参加者のべ389人				
【内訳】	平川中央保育園	4回	参加者:	72人 12,500円 (体操教室、歩くスキー教室)
	大坊保育園	2回	参加者:	70人 5,000円 (体操教室)
	こども園あらや	5回	参加者:	108人 12,500円 (体操教室)
	町居保育園	3回	参加者:	24人 12,500円 (歩くスキー教室)
	猿賀小6年PTA	1回	参加者:	55人 10,000円 (軽スポーツ)
	わくわく平川教室	1回	参加者:	20人 5,000円 (軽スポーツ)
	体カテスト	1回	参加者:	40人 12,500円 (体カテスト、ソフトバレーボール)

## 5. 評価

<b>B</b>	<p>当市のスポーツ振興を図るためには、保育園児をはじめ小さな時からスポーツを親しむ機会が大切であり、体操・歩くスキー・軽スポーツ等の教室開催は、一定の成果を上げている。さらに年齢層の拡大を目指し、各種団体に周知徹底を行う必要がある。</p>
----------	---



# 事務事業評価表

事業No. 20

事務事業名	たけのこマラソン大会補助金	担当課	保健体育課
-------	---------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	平川市たけのこマラソン大会の運営費を一部支援し、将来に向けて持続性ある大会にすることで、平川市の生涯スポーツの推進と礎ヶ関地域の振興に寄与する。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	より効率的な運営のために大会実行委員会へ補助金を交付し、自動記録システム(ICチップ)の導入をはじめ、平成28年度は市制施行10周年記念事業として、ゲストランナーを招へいした。
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
2,795	0	0	0	2,795

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>自動記録システム(ICチップ)を導入したことで、記録・順位の計時が迅速にでき、計測係と着順係が不要になったことで、スタッフの適正配置につながった。</p> <p>また、ゲストランナーに世界陸上女子マラソン銀メダリストの市橋有里さんを招へいした効果もあり、参加申込者数は1,047人となった。【内訳:市民156人、市民以外の県内580人、県外311人】(県外参加者の最遠方は大阪府より)</p>
---

## 5. 評価

A	<p>ここ数年毎回参加者が1000人を超え、本県はもとより全国のマラソン愛好者に注目される大会となりつつあり、地域の活性化に貢献している。</p> <p>また、自動記録システムの導入は、大会運営がよりスムーズとなり、参加者からの評判も良く、目的は十分に達成されている。</p>
---	--

# 事務事業評価表

事業No. 21

事務事業名	平川市スポーツ派遣補助金	担当課	保健体育課
-------	--------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	市内小・中学生及びスポーツ団体等のスポーツ活動の振興を図るため、全国・東北大会等へ出場する際に要する費用を支援する。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<p>全国大会及び東北大会等への出場権を得た小・中学生の個人またはスポーツ少年団体等より申請を受け、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。</p> <p>【対象経費：参加料、交通費、宿泊費】</p> <p>【補助上限(1人当たり)：北東北 5千円、北海道・南東北から北陸・東海 1万円、近畿以南 2万円】</p>
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
1,360	0	0	0	1,360

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付件数 23件 (対象者数139人)</li> <li>・補助総額 1,360,000円</li> <li>・競技内訳 空手23人、ソフトテニス43人、水泳2人、サッカー36人、一輪車19人、ゲートボール1人、ソフトボール15人</li> <li>・派遣先 岩手県8人、宮城県62人、山形県5人、福島県11人、東京都26人、千葉県6人、静岡県20人、京都府1人</li> </ul>
---

## 5. 評価

<b>B</b>	<p>全国大会及び東北大会への出場に要する経費の一部助成により、自己負担が軽減され、競技スポーツへの参加意欲の向上に寄与した。今後、本制度のより一層の周知徹底に努め、本市のスポーツ活動の振興を図る必要がある。</p>
----------	--

# 事務事業評価表

事業No. 22

事務事業名	NPO法人平川市体育協会補助金	担当課	保健体育課
-------	-----------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進
	主要施策	1-3-1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	NPO法人平川市体育協会を支援することにより、当市におけるスポーツの振興や市民の体力向上を図る。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	当市の生涯スポーツの実践に取り組んでいるNPO法人平川市体育協会に対し、さらに充実した組織の基盤強化や下部組織、選手・指導者の育成が行えるよう、補助金を交付する。
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
1,700	0	0	0	1,700

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

体育協会の組織基盤強化や下部組織、選手・指導者の育成に資するため、支援を行っている。 支援額 2,293,869円(うち補助金1,700,000円、差額体育協会持ち出し分)			
【内訳】	活動振興助成金	27団体	1,085,025円
	部活動指導者助成金	10件	398,658円
	事業助成金	20件	697,186円
	大会助成金	5件	55,000円
	指導者資格助成金	5件	58,000円

## 5. 評価

B	NPO法人平川市体育協会については、生涯スポーツ推進の中核を担っており、各競技団体から全国大会へ出場する選手も多く輩出している。当市のスポーツ振興や競技力向上をより一層目指すため、下部組織、指導者の育成に努める必要がある。
---	---

# 事務事業評価表

事業No. 23

事務事業名	第2期平賀総合運動施設整備事業	担当課	平川市運動施設
-------	-----------------	-----	---------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-3	元気はつらつ生涯スポーツの推進
	主要施策	1-3-3	スポーツ施設の充実
事業開始・終了年度	平成27年度から平成28年度		
事業の目的・概要	陸上競技場及び多様な競技に利用できる多目的広場を整備し、既存のひらかドーム等と運動施設としての一体化を図る。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	第2期平賀総合運動施設整備事業として計画された本事業のうち、陸上競技場を1工区、多目的広場を2工区とし、27・28年度の2か年で工事を進める。また、平成28年度には管理棟・トイレ棟・倉庫棟の建物3棟及び市道改良の工事、並びに各種の必要備品を購入する。
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
921,483	0	0	0	921,483

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>第2期平賀総合運動施設整備事業として計画された本事業のうち、陸上競技場を1工区、多目的広場を2工区とし、27・28年度の2か年で整備した。また、平成28年度には管理棟・トイレ棟・倉庫棟の建物3棟及び市道改良の工事、並びに各種の必要備品を購入した。</p> <p>①1工区 472,034,400円 ②2工区 202,049,600円 ③管理棟・トイレ棟・倉庫棟等 108,702,000円 ④市道改良 57,618,000円 ⑤備品購入費 54,861,893円 ⑥監理業務 11,550,000円 ⑦その他 14,667,519円</p>
---

## 5. 評価

B	市民の念願であった陸上競技場、及び多様な競技に利用できる多目的広場が完成した。今後、付随する用具等の不備解消や利用方法の周知徹底を図るなど、市民の誰もが利用しやすい環境づくりに努めていく必要がある。
---	---

# 事務事業評価表

事業No. 24

事務事業名	公共ホール音楽活性化事業	担当課	文化ホール
-------	--------------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-4	こころ豊かに芸術文化の振興
	主要施策	1-4-1	芸術文化活動の振興
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	一般財団法人地域創造の事業である「公共ホール音楽活性化事業」を利用し、現在活躍している演奏家を招致してアウトリーチ(ホール外での演奏)及びコンサートを行うことで、音楽を身近なものとし、感受性や創造性を高めることを目的とする。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<p>事業の実施にあたっては、一般財団法人地域創造のコーディネーターの指導・助言のもとに行った。アウトリーチ先については、市内小・中学校へ文書により照会をし決定した。また、アーティストと身近に触れ合うことができるよう、教室等で実施した。</p> <p>コンサートについては、これまでクラシックに触れる機会の少ない市民のために「はじめて割」※を設定したほか、中学生以下を無料とし負担の軽減を図った。</p> <p>※はじめて割・・・クラシックコンサートが初めての方を対象に、一般通常1,300円を1,000円に、高校・学生通常800円を500円に割引する。</p>
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
222	0	142	0	80

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

<p>アウトリーチは、小和森小学校、碓ヶ関小学校、平賀西中学校、碓ヶ関中学校の4校で実施し、合計167名がアーティストとの交流を行った。教室等の狭い空間で行い、楽器の説明、生徒との連弾、曲のイメージを想像させるなど間近で触れ合った。</p> <p>コンサートについては、一般11名、一般はじめて割128名、学生はじめて割2名、中学生以下51名の計192名の入場者であった。</p>
--

## 5. 評価

<b>B</b>	<p>アウトリーチでは、子どもたちが間近で音楽の楽しさ、素晴らしさを肌で感じとり、豊かな感性が育まれた。</p> <p>コンサートでは、クラシックコンサートを聴いたことがない人も親しめる選曲であったこともあり、来場された観客からは翌年度以降の継続した開催が望まれている。今後の事業展開にあたっては、より多くの観客を動員するための工夫が必要である。</p>
----------	---

# 事務事業評価表

事業No. 25

事務事業名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-4	こころ豊かに芸術文化の振興
	主要施策	1-4-2	文化財保護と活用
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	文化財保護法に基づき、指定文化財への補助支援や周知を行い保護、保存を図る。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者が実施する保存整備事業等に対し補助支援を行う。</li> <li>・文化財標柱を更新し、周知に努める。</li> <li>・文化財パトロールや火災防ぎょ訓練などを行い、文化財の保護の意識向上を図る。</li> <li>・埋蔵文化財包蔵地での開発調整を行い保護に努める。</li> <li>・無形民俗文化財保存団体に対する補助支援を行う。</li> </ul>
--------------------------------	--

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国庫補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
1,616	0	0	0	1,616

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

所有者が実施する「名勝盛美園保存整備事業(国庫補助)」と「名勝盛美園保存管理計画書作成事業(国庫補助)」へ支援したほか、文化財標柱の更新、火災防ぎょ訓練、埋蔵文化財対応、文化財パトロールや無形文化財保存団体への補助支援を行った。
--

## 5. 評価

B	指定文化財や無形民俗文化財保存団体への補助支援を実施しており、整備や保存に一定の効果を上げているが、より一層の文化財保護を図るため、長期計画を立て効果的な事業推進が望まれる。また、所有者変更や滅失などの各種手続き等に遅滞がないよう、文化財所有者と連絡を密にする。
---	---

# 事務事業評価表

事業No. 26

事務事業名	文化普及啓発事業	担当課	郷土資料館
-------	----------	-----	-------

## 1. 事業概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	こころ豊かな、未来へ向かうひとづくり
	個別目標	1-4	こころ豊かに芸術文化の振興
	主要施策	1-4-2	文化財保護と活用
事業開始・終了年度	平成28年度から平成28年度		
事業の目的・概要	平川市郷土資料館条例に基づき、郷土の歴史、民俗、芸術、産業及び自然に関する調査、教育、研究、資料の収集、保管及び展示に関する事業を行う。		

## 2. 事業の実施方法

実施方法 (目的実現のための手段 及び実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の適切な保管と展示を行う。</li> <li>展示会などの普及啓発事業を行い郷土に関する学習の機会を提供する。</li> <li>収蔵資料の貸出や講師派遣による学校教育の支援を図る。</li> </ul>
--------------------------------	---

## 3. 決算額(単位・千円)

事業費総額	財源内訳			
	国県補助金	(参加者)負担金	その他	一般財源
215	0	0	0	215

## 4. 事務事業の実績(具体的に記載)

普及啓発事業として移動学習「ひらかわ史跡探訪(26名参加)」、体験学習「化石レプリカをつくろう(児童18名参加)」、展示会「昭和レトロ展～安田勝寿コレクション～(1,640名見学)」を実施したほか、市内小学校へ「昔の農機具」等の貸出や説明するなどの学習支援を行った。また、子ども民俗芸能大会(むつ市)に柏木小学校及び柏木町荒馬保存会を推薦し好評を得た。
--

## 5. 評価

B	郷土の歴史や文化財などについて見識を深める機会を提供することができた。 現在の展示スペースや収蔵資料だけでは展示内容が偏ることもあり、文化センター館内スペースの有効利用や運営方法の検討及び他館からの資料借用等について積極的に展開し、様々な企画を立案する必要がある。
---	---